

第20回新生児栄養フォーラム

会期：2021年6月19日（土）・20日（日）

会場：連合会館（東京都千代田区神田駿河台3-2-11）

6月19日（土）

■ トレーニングコース：エキスパートに学ぶ NICU 栄養管理

「早産児に対する早期からのリン投与は早産児骨減少症の管理法を変える」

「栄養管理と抗菌薬適正使用とのかかわり」

「早産児に対する母乳栄養の現状と課題」

「短腸症候群の栄養管理（魚油由来脂肪乳剤を含む）」

■ シンポジウム1：周産期脂質研究のトピックス

「妊娠女性の赤血球中脂肪酸組成と出生児の発達との関連 エコテル調査の追加調査より」

「早産児マウス敗血症モデルにおける肝臓脂質メチエーター動態の検討」

「子宮内虚血を用いた低出生体重・非肥満型高血糖発症マウスモデルの病態解析」

「リノール酸代謝産物からみた早産児における脂質栄養管理の国際比較」

6月20日（日）

■ 企業セッション

■ ランチョンセミナー

「ビフィズス菌の初乳および母乳との出生後早期同時投与は、

腸内細菌叢早期確立に伴うオリゴ糖代謝、胆汁酸代謝等を介して母乳栄養効果を促進する」

順天堂大学大学院プロバイオティクス研究講座 山城雄一郎 先生

■ 特別講演

「赤ちゃんの食行動を促すために—早産児・新生児のフォローから—」

たつのシティワーククリニック 田角 勝 先生

■ シンポジウム2：DOHaD/ エピジェネティクス研究の最前線

「環境によるエピゲノム変化とヒト疾患」

「早産児・低出生体重児における血液検体での網羅的 DNA メチル化・遺伝子発現解析を用いたエピジェネティック変化の探索」

「妊婦の栄養と児の NAFLD 発症につながる肝臓エピゲノム記憶：マウス動物モデルを用いた検討」

「IGF1 遺伝子メチル化からみた妊婦・新生児の栄養管理」

■ 話題提供

「新生児・乳児ビタミン K 欠乏性出血症に対するビタミン K 製剤投与の改訂ガイドライン（修正版）」の一部改訂について」

参加申し込み：URL (<https://forms.gle/G7M7JpjWLRM5mm7fA>) もしくは QR コードよりアクセス

対象者：新生児医療、新生児栄養の研究に従事されている方（医師、看護師、助産師、研究職）

参加費：¥10,000（テキスト代含む）

申込期間：2021年2月22日～5月25日（会場参加は先着60名まで。web参加は先着150名まで。）

注意事項：1. 事前に参加費の振り込みが確認できた方に「抄録集」「領収書」「参加方法」を郵送致します。

2. 「日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度研修2単位」

「参加証」は発行を希望され、会期中の参加が確認できた方に

後日送付致します。

LIVE 配信併用
(開催後オンデマンド配信はございません)

※社会的情勢により、開催内容の変更
または中止となる場合がございます。



第20回新生児栄養フォーラム事務局

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1 順天堂大学小児科内

tel 03-3813-3111（内線3326）

当番世話人 東海林宏道（順天堂大学小児科）

事務取扱 加藤智子 (satokato@juntendo.ac.jp)